

# はくびつかん

1977.6.1 平塚市博物館

## 6月の行事

**4**

(土)

自然観察会

カエルの声を聞こう

**11**

(土)

星を見る会

太陽黒点の説明のあと、望遠鏡で黒点の

観察、スケッチをする。

午後2時～3時半

場所：博物館科学教室・屋上

申し込み：小学生以下、往復ハガキで博

物館へ。多数の場合は抽選で20名。

6月1日の消印まで有効

**17.18.19**

(金・土・日)

体験学習シリーズNO12

土器と土偶を作ろう

縄文時代後期の注口土器、土偶や文様をつける縄文原体を作り、古代人の技術を学ぶ。

午前10時～午後4時

場所：科学教室

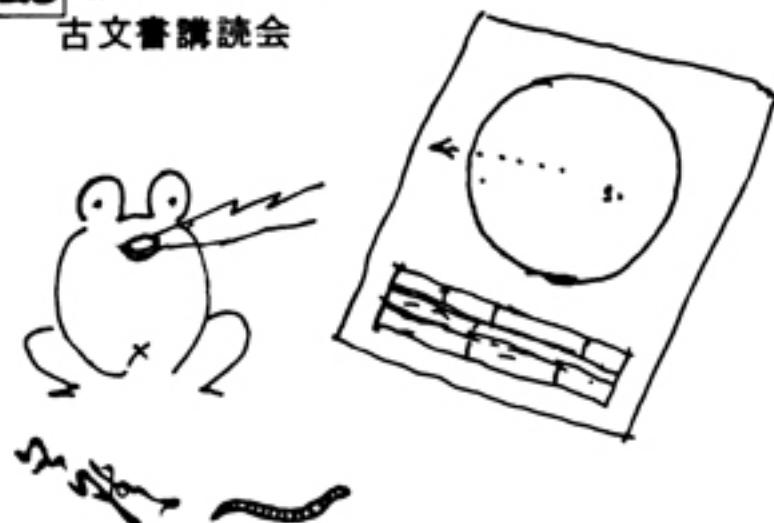
申し込み：往復ハガキで6月9日までに博物館へ。3日間参加できる方、先着15名。

参加費として 500円 当日徴収いたします。

**11.25**

(第2・第4土曜)

古文書講読会



## 休館のお知らせ



博物館では、資料の保存整理と館

全体の殺虫処理を行ないますので、

6月23日(木)から6月30日(

木)まで休館いたします。



## 7月の行事

### デツサン教室

#### 市民のアトリエ

##### 第一回デツサン教室参加者募集

巨匠ピカソもあなたと同じ白い画面にデツサンをはじめました。

あなたもやつてみませんか。より深く美術を理解するためにも、より自由に表現できるように、みんなで描ける本格的アトリエを開設いたします。

○期間 7月26日～8月5日

○時間 午前10：00～午後4：00



○対象 中学生以上的一般

○申し込み 往復ハガキで6月20日までに博物館へ。

○定員 20名

○全期間出席される方を優先に受付いたします。

**9・23** (第2・第4土曜)

### 古文書講読会

**10(日)**

### 自然観察会

ササゴイ(サギの一種)の巣や 川原の石の観察をします。

9時～15時

場所：厚木付近の相模川川原

申し込み：6月30日までに往復ハガキで博物館へ。30名を超えた時は抽選。

星座早見をつくり、プラネタリウムでつかつてみる。

午後1時～4時

場所：科学教室・プラネタリウム室

材料費として 100円 当日に徴収いたします。

申し込み：7月16日までに往復ハガキで博物館へ。多数の場合は抽選で40名。

**21(木)**

### 星を見る会

はそい月の観察をします。

午後6時～8時

申し込み：7月11日までに往復ハガキで博物館へ。多数の場合は抽選で30名。なお小学生以下は父兄同伴で申し込みください。

**30(土)**

### 体験学習シリーズ13

#### 「骨格標本をつくろう」

魚の骨格標本をつくり、骨のしくみや役割を考えてみる。

場所：科学教室

申し込み：7月20日までに往復ハガキで博物館へ。多数の場合は抽選で20名。小学4年以上。

材料費として当日に 200円徴収いたします。

### 夏休み中

#### 特別展示

##### 『家と村』

**26(火)**

### 星座早見をつくろう

行事参加申し込みのハガキには住所・氏名・電話・職業を必ず書いてください。

## ★☆プラネタリウム案内★★★★★★

### ○話題

6月～7月17日 火星のナゾ

火星探査機バイキングは火星を調べに行きました。火星はいつたい、どんな世界なのでしょう。はたして生物はあるのでしょうか。

7月20日～8月（夏休み）

星と海

○観覧料 1人 100円

○所要時間 1回 45分

○定員 128人

○乳幼児はご遠慮ください。

### ○観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日		発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	1回目	12:00	13:40
	2回目	14:00	15:00
日曜日	1回目	9:00	10:30
	2回目	12:00	13:30
水・木	団体専用 夏休みには2回目が一般になります。 (12:00 14:00)		

○20人以上は団体となります。ご利用の際には博物館受付にお問い合わせください。なお6月中旬は中学2年生が入っております。

\*\*\*\*\*

### 木綿 織

柳田國男の著書に『木綿以前の事』というがある。ぜひ一読をおすすめしたい本である。木綿以前といふと麻・コウゾ・藤などの皮の繊維をさすのであるが、市内ではすでに、木綿以前のこととはほとんどわからない。衣の歴史は木綿以後のことしかたどれなくなつてきている。

木綿は、最近は化学繊維の陰にかくれてしまつてゐるが、まだまだ肌ざわりの良さから根強く使われてゐる。化学繊維以前は、木綿は大変重宝された。モモヒキ・トウジン・ネジリパンテンなどの仕事着に、また家の中で着る普段着などに使われた。トウジン・モモヒキは紺無地、普段着はシマガラ(縞柄)であつた。木綿の糸をトウイトと市内入野ではいつてゐるが、トウイトを買つてきて、コウヤ(紺屋)へ出すか自家で染めて織つた。紺に染めるのが多いが、ネズ・茶・アイなどの色にもした。

シマガラにはいろいろある。市内北金目では、次のような縞があつたといふ。

メクラジマ 紺無地

ボウジマ 太く同じ目数で縞を織つていく。

ヤタラジマ 太い縞、細い縞をやたらと入れる。

コモチジマ 太い縞、細い縞を1本ずつ交互に織る。

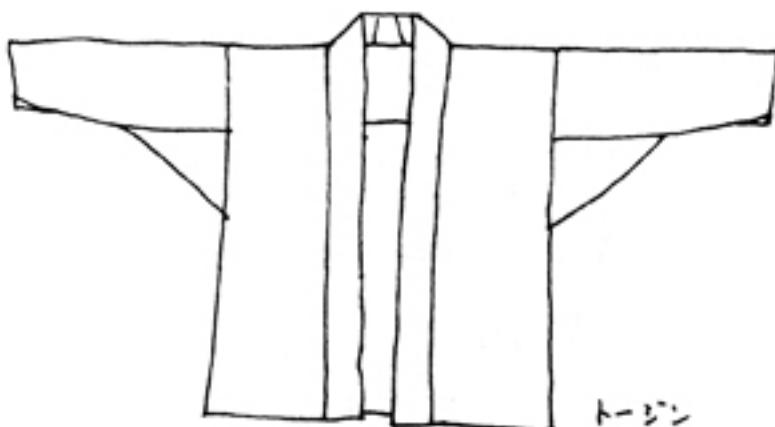
タキジマ 太い縞が次第に細くなる。

マンスジ 2本の太い縞の間に1本の細い縞。

センスジ 4本の太い縞の間に1本の細い縞

センスジ・マンスジは男物といふ。これらを1日で1反織れば1人前であつた。

こうして自分で織つた縞や買つた反物でいいのがあると、すみを少し切り、シマホン(縞本)にして見本にとつておく。縞本は、市内では未だ見つかっていない。是非欲しい資料の1つである。木綿で、よく使われたものに遠州木綿といふのがある。これを奉公人のシキセにしたりたといふ。生地がうすく、色もさえなく、あまりいい品ではないといわれてゐる。(ナオ)

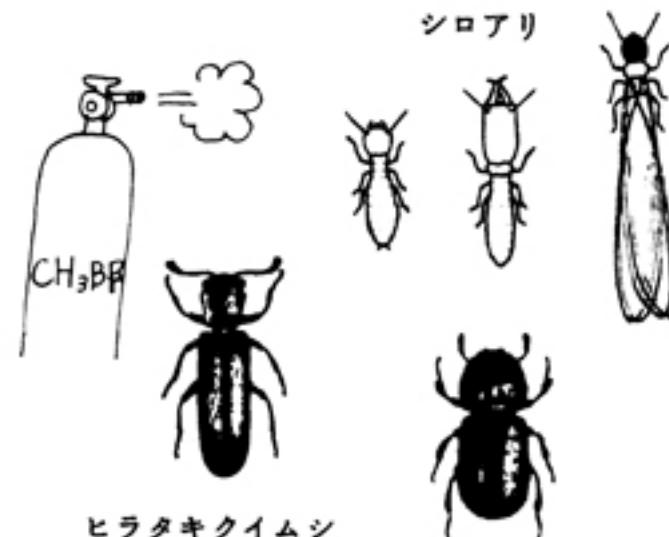


## 博物館資料のガス燐蒸殺虫処理

博物館の大切な仕事の一つに、収集した資料・皆さんから寄贈された資料など、後世に伝え残してゆく保存する役割があります。資料を安全に保存するために収蔵室が設けられ、空気調整によつて部屋の温湿度を一定に保ち、光線の強さの調整も毎日行なわれています。収蔵室や展示室などに収められたそれらの資料は、材質別にみると、木材・竹・繊維・皮・紙・土・石・鉄・青銅などいろいろなものでできています。これらは湿つた場所や温かい場所におくと、カビが生えたり虫がついたりして、やがてくずれてなくなってしまうものが少なくありません。とくに植物や動物を素材にしてある資料は、虫によつて食いあらされる危険性があります。例えば書籍・古文書・掛軸・巻物・衣類などです。皆さんも古い本の中が穴だらけに食い荒らされているのを見たことがあるでしょう。

### 害虫のいろいろ

虫によつて被害をうけた例は日常いろいろ見かけられます。ラワン材につくきくいむし、家の土台を食い荒らすシロアリ、古い木材につくしんくいむし、衣類などを食べるカツオブシムシ、本を食い荒らすシミやホンジラミなどきつとあなたも見たことがあるでしょう。



博物館に収集された資料などは、古い物新しいものを問わざ虫害のうけているものが多くあります。これを定期的に毒ガスによつて一度に殺し、虫害から資料を守る必要があります。

くんじょう  
燐蒸殺虫処理

きくいむしは5%以上穀粉が含まれているものなら喜んで食べるので、木材質の文化財の大敵です。云わば博物館は虫にとつてみれば、おいしい食糧の大倉庫になるわけで、いつも虫の進入、発生に細かい注意が必要となるのです。

書籍の虫による被害は、火災によるそれより大きいと言われるのは、虫の驚く程すさまじい繁殖力を示すものです。

シロアリは木造家屋について巣をつくり、1匹～50万匹で集団生活を営みどんどん木材を食べあさり増殖をし、5月～6月頃羽ありになって分家し他へ移転するので、この頃一度に殺してしまわないと大変です。

### ガス燐蒸殺虫

これらの虫を殺すためにはいろいろな方法がとれます。

A 液体の殺虫剤を塗付、散布、含浸する。

B 粉末の「」を散布する。

C 気体の「」を散布、含浸する。

A、Bの方法は書籍や絵画や彫刻など物に汚れを与えるシミの原因になつたりするので使いません。物をいためず虫だけを殺す薬剤としてCの方法が一番よいので一般に行われております。

穀物の殺虫や船舶の殺虫など気体による殺虫が行なわれていますが、博物館の資料にはメチルブロマイドと言う毒ガスで殺虫を行います。

高濃度のこのガスを吸うと人命が危くなりますので特に厳重な注意が必要で、48時間密閉しておく燐蒸作業中は近くに寄つたりしてはいけません。

6月25日から30日まで博物館に近よつてはいけません。どうぞよろしく注意して下さい。

はくぶつかん VOL2 №3

昭和52年6月1日 通巻14

発行 平塚市博物館

T 254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111

印刷 平塚市総務部行政課文書係

©1977